

③ 予測条件

a. 気象条件

上空風のデータとしては、現況調査に示した、大阪管区气象台（風向・風速の測定高さ：地上 33m）における平成 15 年 1 月から平成 24 年 12 月までの風向・風速測定結果を用いた。

b. 模型範囲及び予測地点

模型は、1/500 の縮尺で、事業計画地を中心とする半径 500 m（模型上 1,000mm）の円内を再現し、その上に予測地点を配置した。建設前及び建設後における模型範囲及び予測地点の位置は、図 5-12-6(1)、(2)に示すとおりである。

c. 模型の条件

建設前及び建設後の模型の条件は表 5-12-4 に示すとおりである。また、建設前の模型は図 5-12-7 に、建設後の模型は図 5-12-8 に示すとおりである。

計画建物については、事業計画を元に模型化した。また、予測地域内において将来建設が予定されている建物のうち、計画建物竣工前に竣工が予定されている高層建築物は、事業計画地の西側に位置する大阪駅西地区地区計画（大阪中央郵便局、約 187m）、北側に位置する大深町地区地区計画（ヨドバシ梅田Ⅱ期、約 150m）、東側に位置する（仮称）清和梅田計画（約 104m）である。これらの高層建築物については、周辺模型に反映した。

表 5-12-4 模型の条件

	模型条件	
	事業計画地内	事業計画地外
建設前	現在の建物を再現	大阪駅西地区地区計画（大阪中央郵便局、約 187m）、大深町地区地区計画（ヨドバシ梅田Ⅱ期、約 150m）、（仮称）清和梅田計画（約 104m）を考慮
建設後	計画建物 ・計画建物は、高層部と中層部で構成 ・既存の植栽のみ設置	同上

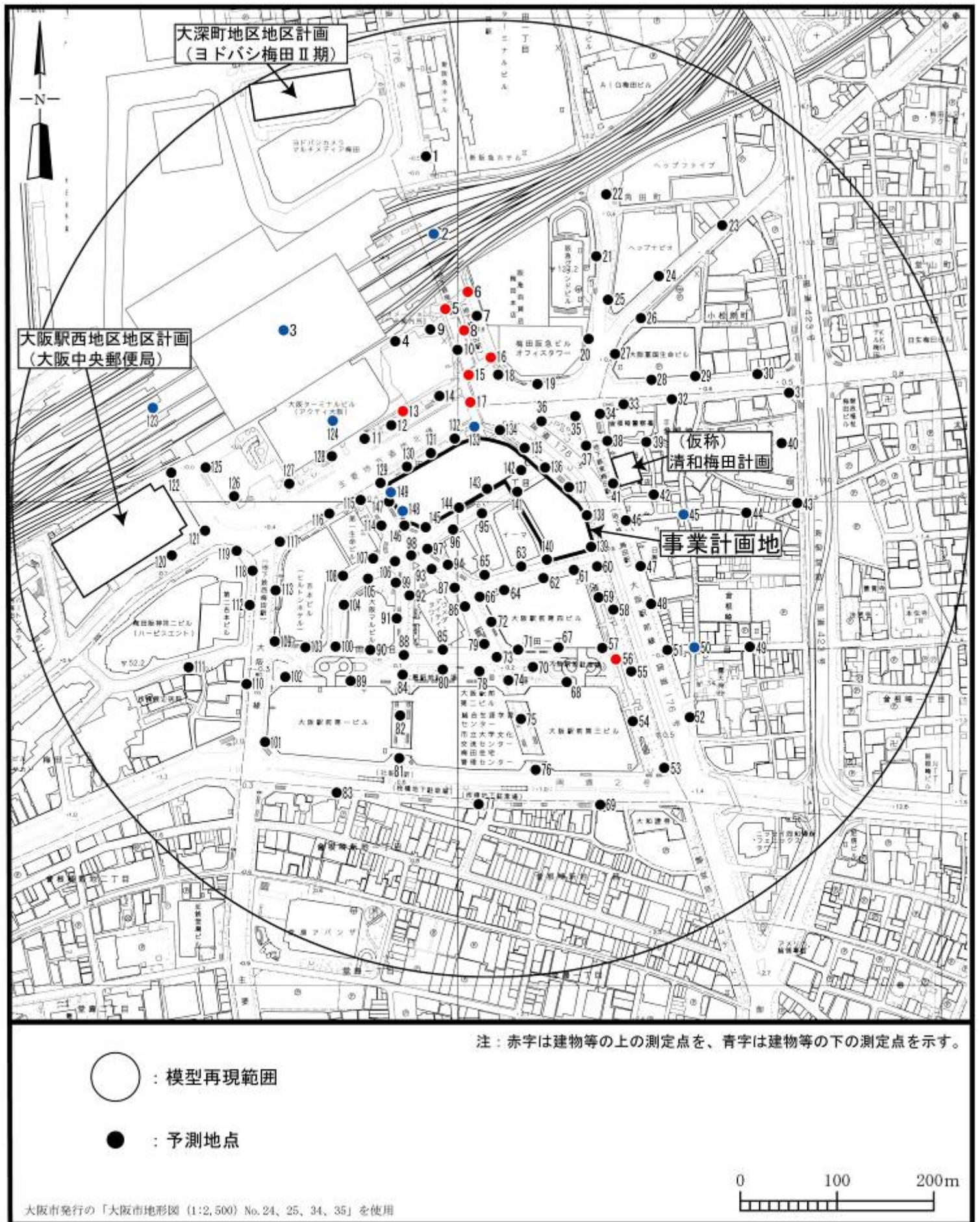


図 5-12-6(1) 模型再現範囲と予測地点 (建設前)



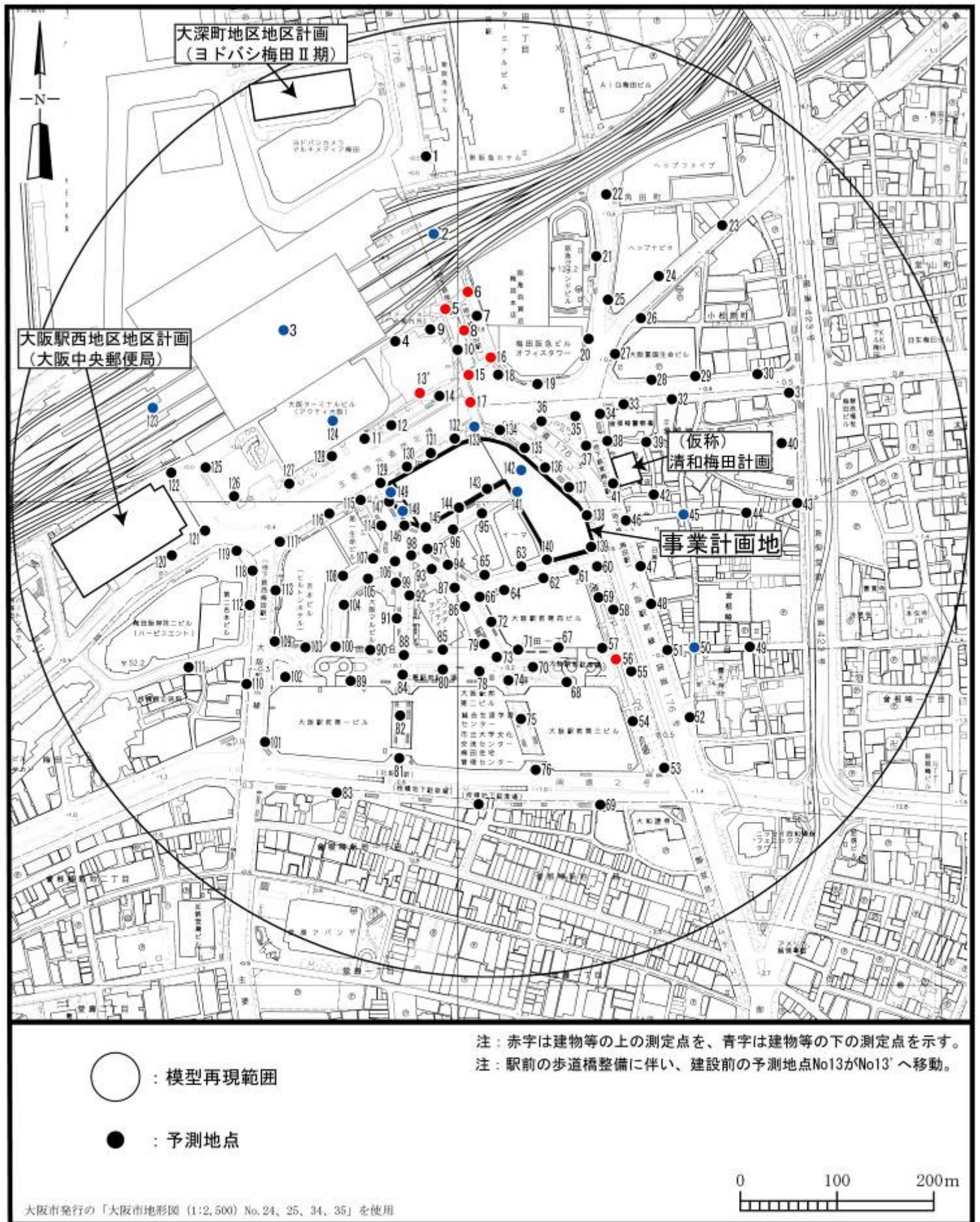


図 5-12-6(2) 模型再現範囲と予測地点 (建設後)



図 5-12-7 建設前の模型



図 5-12-8 建設後の模型



(3) 予測結果

事業計画地周辺の各予測時点における風環境評価ランクの予測結果は、表 5-12-5、表 5-12-6(1)、(2)及び図 5-12-9(1)、(2)に示すとおりである。

現在の建物を再現した建設前の結果では、風環境評価のランク 1 が 39 地点、ランク 2 が 88 地点、ランク 3 が 19 地点、ランク 4 が 3 地点となっている。建設前の予測結果では、事業計画地の東から南側が総じてランク 2 以下、北側がランク 3 及びランク 4 (予測地点 92、115、127) となっている。

計画建物を再現した建設後の結果では、現況に比べてランク 2 及びランク 3 の地点が増加するが、ランク 4 であった風環境がランク 3 に改善される地点が 2 地点予測される(予測地点 115、127)。なお、予測地点 92 は建設前よりランク 4 であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

事業計画地周辺は、強風による影響を比較的受けにくい事務所街等であり、風環境評価ランクが 1～3 であれば、風環境として特に問題はないと考えられる。

表 5-12-5 風環境評価ランク比較

	評価ランク	建設前	建設後
地点数	ランク 1	39	32
	ランク 2	88	93
	ランク 3	19	23
	ランク 4	3	1
	計	149	149

表 5-12-6(1) 風環境評価ランク予測結果

予測地点番号	評価ランク		予測地点番号	評価ランク		予測地点番号	評価ランク	
	建設前	建設後		建設前	建設後		建設前	建設後
1	1	1	26	3	3	51	2	2
2	2	2	27	3	3	52	2	2
3	2	2	28	2	2	53	2	2
4	2	2	29	2	2	54	2	2
5	2	2	30	2	2	55	2	2
6	2	2	31	1	1	56	1	1
7	2	2	32	2	2	57	2	2
8	2	2	33	2	2	58	2	2
9	2	2	34	2	2	59	1	1
10	3	3	35	2	2	60	2	2
11	2	2	36	2	2	61	1	1
12	2	3	37	1	2	62	2	2
13 (13')	3	2	38	1	2	63	2	2
14	2	2	39	2	2	64	2	2
15	3	3	40	1	1	65	1	1
16	2	2	41	2	2	66	2	2
17	2	3	42	1	1	67	2	2
18	2	3	43	1	1	68	2	2
19	3	3	44	1	1	69	2	2
20	2	2	45	1	1	70	1	1
21	2	2	46	2	2	71	2	2
22	2	2	47	2	2	72	1	1
23	2	2	48	2	2	73	2	2
24	2	2	49	2	2	74	1	1
25	3	2	50	2	2	75	2	2

注：建設前の予測地点 13 は、駅前の歩道橋整備により建設後は予測地点 13'へ移動。

表 5-12-6(2) 風環境評価ランク予測結果

予測地点番号	評価ランク		予測地点番号	評価ランク		予測地点番号	評価ランク	
	建設前	建設後		建設前	建設後		建設前	建設後
76	1	1	102	3	3	128	2	2
77	2	2	103	2	2	129	3	3
78	1	1	104	2	2	130	3	3
79	2	2	105	1	1	131	3	3
80	1	1	106	2	2	132	3	3
81	1	1	107	2	1	133	2	3
82	1	1	108	1	1	134	1	2
83	1	1	109	2	2	135	1	2
84	1	1	110	1	1	136	2	2
85	3	3	111	2	2	137	1	2
86	3	3	112	2	2	138	1	1
87	3	3	113	2	2	139	1	1
88	2	2	114	2	2	140	2	2
89	1	1	115	4	3	141	1	3
90	2	2	116	3	2	142	1	2
91	3	3	117	2	2	143	1	1
92	4	4	118	2	2	144	1	1
93	2	2	119	2	2	145	1	2
94	2	2	120	3	3	146	2	2
95	1	1	121	2	2	147	2	2
96	2	2	122	2	2	148	2	2
97	2	2	123	2	2	149	2	2
98	1	1	124	2	2	\		
99	3	3	125	2	2			
100	2	2	126	2	2			
101	2	2	127	4	3			

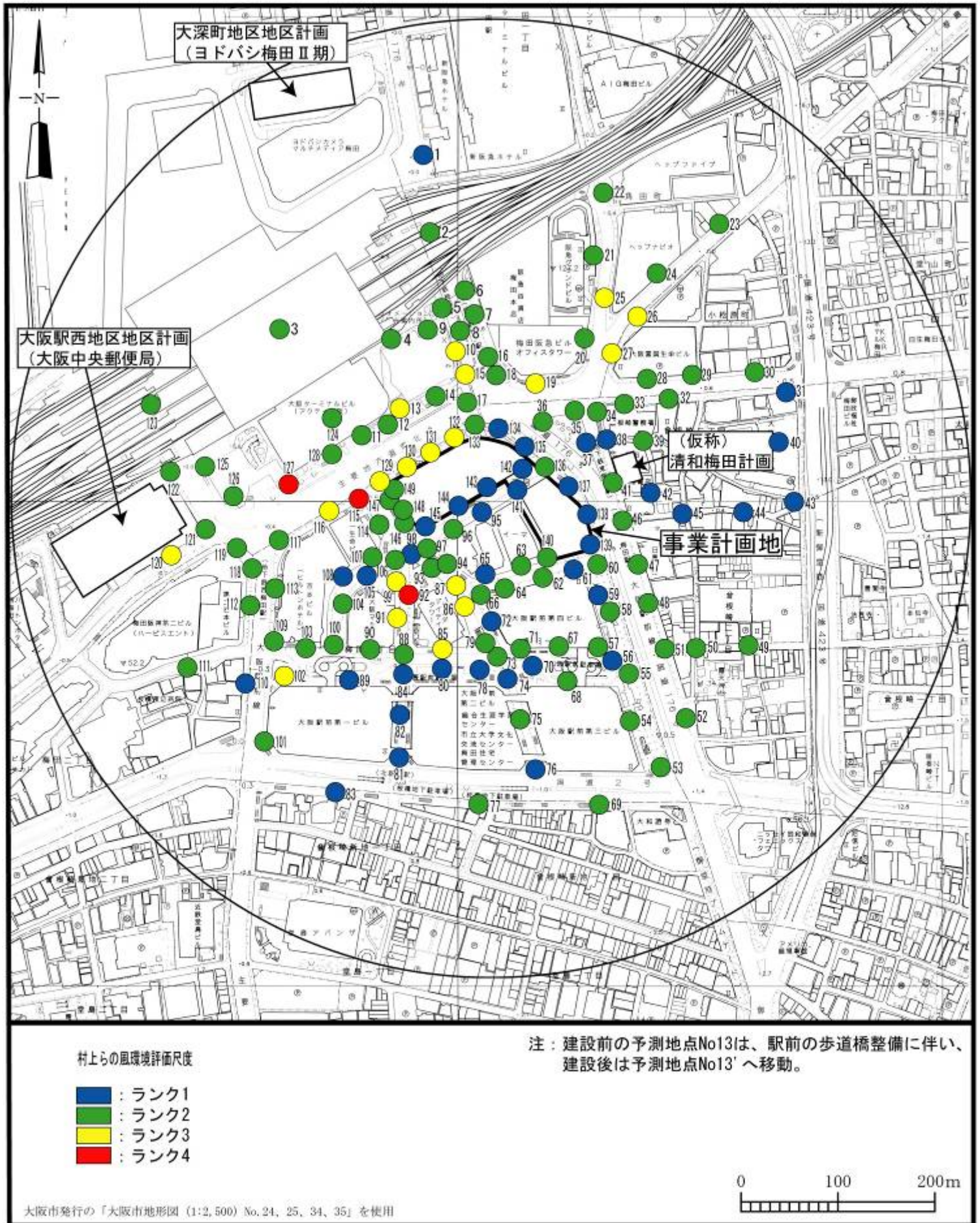


図 5-12-9(1) 風環境予測結果 (建設前)



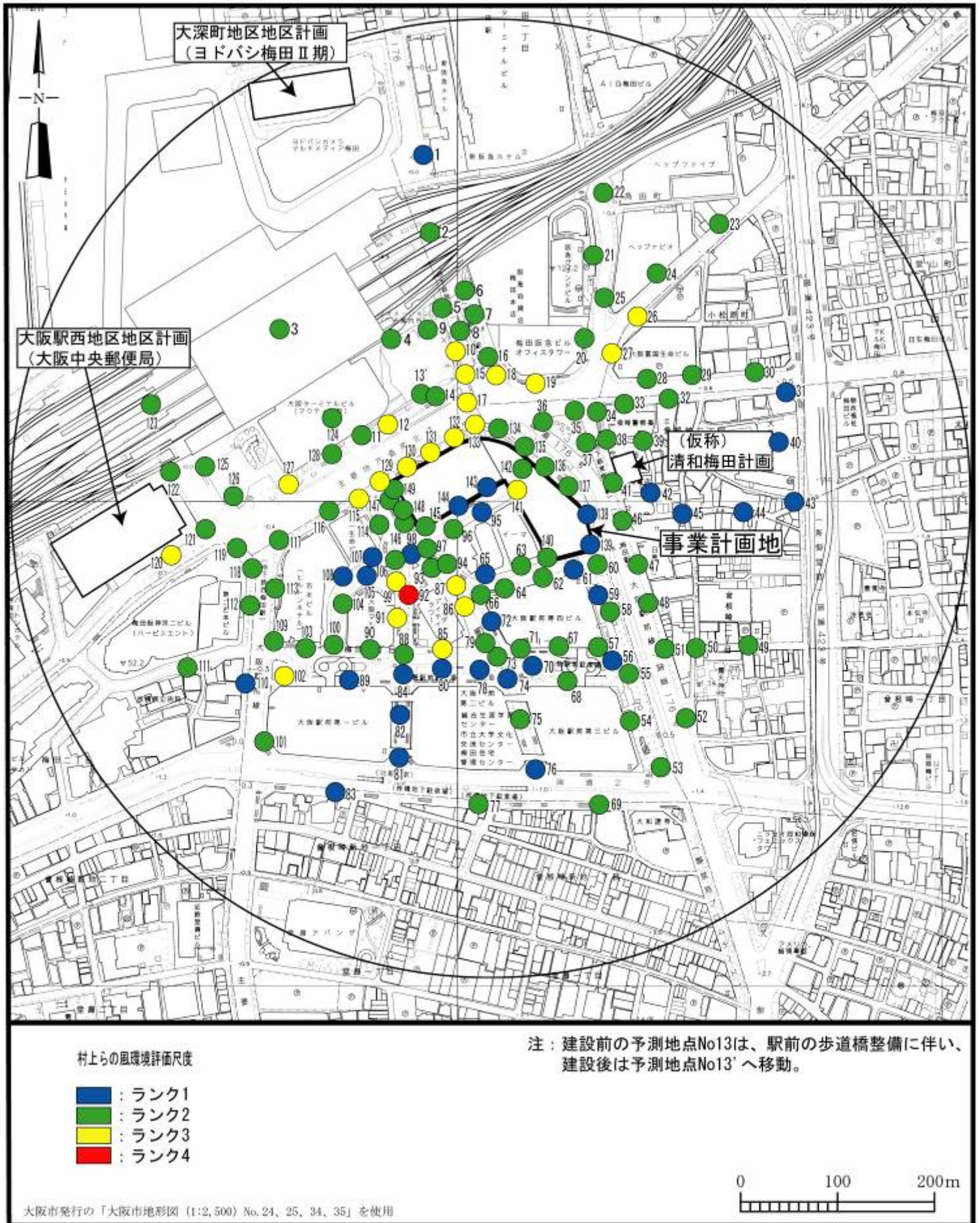


図 5-12-9(2) 風環境予測結果 (建設後)

#### (4) 評価

##### ① 環境保全目標

風環境の評価にあたっての環境保全目標は、「事業計画地の周辺地域において、気象の状況に著しい変化を起こさないよう配慮していること」、「事業の実施に伴う風系の変化が周辺地域に著しい影響を及ぼさないこと」及び「大阪市環境基本計画等の目標、方針の達成と維持に支障がないこと」とし、本事業の実施が事業計画周辺の風環境に及ぼす影響について、予測結果を環境保全目標に照らして評価した。

##### ② 評価結果

本事業においては、計画建物を中層部と高層部の二段構成とし、歩行者等への風の影響をできる限り軽減する計画である。

計画建物の建設に伴い事業計画地周辺では風環境が変化し、現況に比べてランク 2 及びランク 3 の地点数が増加するが、ランク 4 であった風環境がランク 3 に改善される地点が 2 地点予測された（予測地点 115、127）。

事業計画地周辺は、強風による影響を比較的受けにくい事務所街等であり、風環境評価ランクが 1～3 であれば、風環境として特に問題はないと考えられる。

以上のことから、周辺地域の気象の状況に著しい変化を起こさないよう配慮していること、さらに、事業の実施に伴う風系の変化が周辺地域に著しい影響を及ぼさないことから、環境保全目標を満足するものと評価する。